

特集 第23回 SRお客様交流会
2016年9月2日(金) 大田区産業プラザPiO

セイフティレコーダ®の徹底活用で ヒヤリハットを見逃さず事故ゼロを目指す

ダイキン工業株式会社 様

- 所在地: 大阪府北区中崎西 2-4-12
梅田センタービル(本社)
 - 設立: 1934年2月11日
 - 代表者: 代表取締役社長兼CEO 十河政則
 - 事業内容: 空調事業、化学事業、
油機・特機・電子システム事業
- SR導入** SRConnect 148台
(東日本サービス部に導入)



これが我が社のSR導入効果

事故発生率が
20%から4%に大幅ダウン!!

※ 2011年度と2016年度との比較 (他社事故発生率平均15%程度)

SR導入を機に社内体制を一新 成功のための「5つの事項」を遂行

2006年から、新規人材採用や配置転換による「運転に慣れていないドライバー」の増加が原因の事故が増え始め、特に若手社員の事故が目立つようになりました。

「交通事故ゼロ」達成に向け、意識・行動を外部の専門機関の力などを借りての「科学的分析を取り入れた新たな取り組み」の必要性を感じ、2011年7月からセイフティレコーダ® (以下、SR) の運用を開始しました。

各サービスステーション(以下SS)所長は、SRを活用した「①運行計画(点呼)」「②日常点検」「③運転日報」「④運転者

教育」「⑤車両の管理」の5つの事項を遂行することになりました。

① 運行計画

ドライバーの能力や健康状態を「出勤前チェックシート」で把握し、服装や体調、睡眠時間、健康状態などを第三者がチェックし、当日の運行可否を決定(図1上)。

② 日常点検

「出勤前チェックシート」による車両点検を実施。1物件ごとに乗車前、「車1周の死角の安全確認」や車載設備の固定確認など6項目の点検を行う(図1下)。

③ 運転日報

SRデータによる運転日報を運用。SR運転日報の提出と、帰

運行計画(点呼)



▲ドライバーは「出勤前チェックシート」を提出し、管理責任者は体調や健康状態に問題ないことを確認。「運行業務チェックシート」の7項目の安全確認後、運転を開始

運転日報(振り返り)



▲管理者は「SR運転日報」を確認し、コメントを記載して返却。対話とともに当日の運転でのヒヤリハットも実施

出勤前チェックシート

氏名: 藤木 忍 (ドライバー) / 藤木 忍 (確認者)

日付: 2016年 月 日

種別時間(基準は7時間前後) 時間: 分

現在の体調: とてもよい よい 普通 やや悪い かなり悪い

薬の服用有無: 有 無

現在の疲労: 元気 問題のないレベル 少しだるい かなりだるい

現在の疲れ: 快調 普通 疲れている かなり疲れている

本日予定の出発時刻: 前日の飲酒の有無: 本日の出勤時刻: 個人携帯電話の状況: 手元所持 特別

運行業務チェックシート

項目: 1. フォロワー 2. サイクル 3. バック 4. 目上車線 5. 急ブレーキ 6. エンジン

運転日報

運行時間: 走行距離: 87 / 100

SRデータ自動作成

帰着後の振り返り(※SR起動なしの場合は必須)

① ヒヤリ・ハットシート / かもしれない運転シート どちらかに○を付けて下さい。

◆ヒヤリ・ハット運転: 運転中に「ヒヤリ」した状況を書き留め、直前の時の行動を記入し次回以降の運転に活かして下さい。

◆かもしれない運転: 運転中に直前と違った状況を書き留め、危険を回避するための行動(改善)を記入し次回以降の運転に活かして下さい。

※どのような状況でしたか?

※どのような対策を心掛けたか? (即返信)

※安全運転管理室 備考欄(危険事項等あれば記入して下さい。)

図1 「出勤前チェックシート」により、ドライバーの体調や睡眠時間、前日の飲酒などを所長またはフロントが確認(上)。「運行業務チェックシート」では、運行前の車両点検、1物件ごとの乗車前の安全確認を詳細かつ徹底的にチェック

図2 「SR運転日報」は、運行開始と終了、走行距離のほか5つの運転診断項目や運転診断得点を見る(上)。注意挙動データに危険が見られなかった場合、当日の運転のヒヤリハットを手書きシートで管理者に報告。同シートは所長もコメントを記入

着後の運転の「振り返り」を実施(図2)。

④ 運転者教育

SRデータでドライバーに安全運転指導・教育を実施。各自でKYTを実施後、毎月10日「安全の日」に全体集合KYTで意見交換をはかる(図3~6)。

⑤ 車両の管理

車両外観や内部の清掃・美観点検を中心とした「愛情入魂チェックシート」を運用。車両を磨き上げ、愛情を持たせることで「やさしい運転」への意識付けを行う。

注意挙動やヒヤリハットの分析で 事故の予兆、リスクをいち早く察知

SR運用により、管理者はデータに基づく運転日報や注意挙動・ヒヤリハットから、潜在的な事故リスクをいち早く察知し、注意喚起や個別指導ができるようになり、ドライバーも日々の「(運転の)振り返り」により危険回避能力が身につけていきました。特に運転者教育の内容と質は飛躍的に向上。導入前

は、運行管理者や先輩ドライバーの経験則による「感覚的な指導」がほとんどで、新人にはなかなか伝わらず、成果につながりにくい状況でした。SRにより客観的な数値データで、ドライバーの運転内容を評価できるようになり、管理者の指導も的確で無駄がなくなりました。またSRデータや映像を教材としたKYTを、個人やSS全体で定期的に繰り返すことで、危険予知能力の向上にもつながりました。

SR導入後、約5年を経て、「運転と安全の見える化」にSRは有効と感じています。事故発生率は、2011年の20%から4%に削減と確実に成果をあげています(写真)。今では、「運転評価得点も通年で平均95点以上」「100kmあたりの注意挙動発生1回以下」「安定度70%以上*」を掲げ、これらを年間3回以上達成と、目標を大幅アップ。さらに「平均得点95点以上、注意挙動1回未満を年3回以上達成する優秀ドライバー育成」「改善要ドライバーゼロ」など、SSごとに運転技能の底上げをして、全体レベルアップをはかっています。

※ 運転評価の平均得点±5点

図3 「サービスカー安全運行カード」は、月ごとに運転技能項目の実績状況、法定速度の遵守、事故や違反状況、運転技術の課題などをドライバー自らが手書きで書き写し、所長に報告。問題がある場合、翌月の運行を停止したり、安全運転技能指導を行う



図5 サービスステーションごとに全ドライバーの運転技能5項目のSR得点を、月ごとの平均点をサマリーとして出力・確認する。数値とグラフ表示によってSS内ドライバーの運転技能の「安定度」が一目瞭然となる

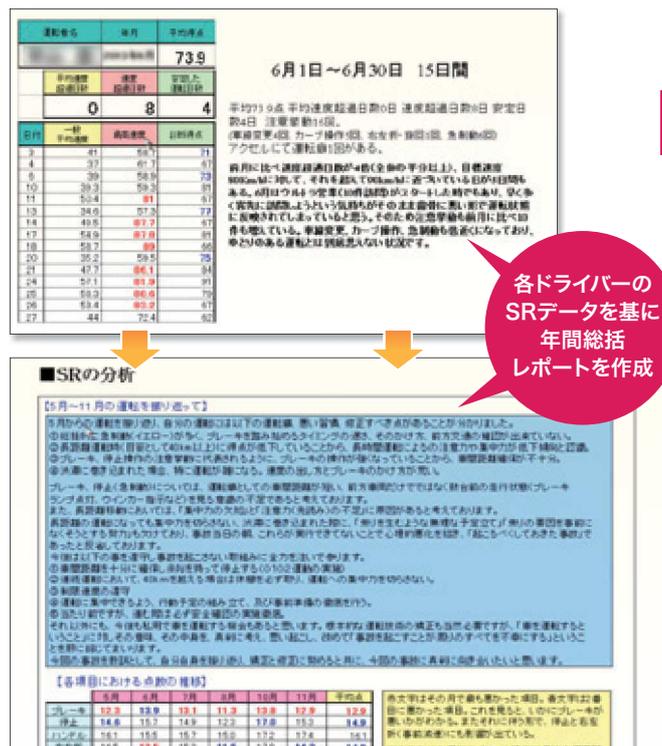


図4 ドライバーは、月間SRデータを基にした年間総括レポートを作成(上)。SRデータの分析を行い、年度の安全運転技能の課題を明確化。ドライバーは、年間総括レポート(下)を用いて所長面談を行い、問題がなければ運行許可を得る

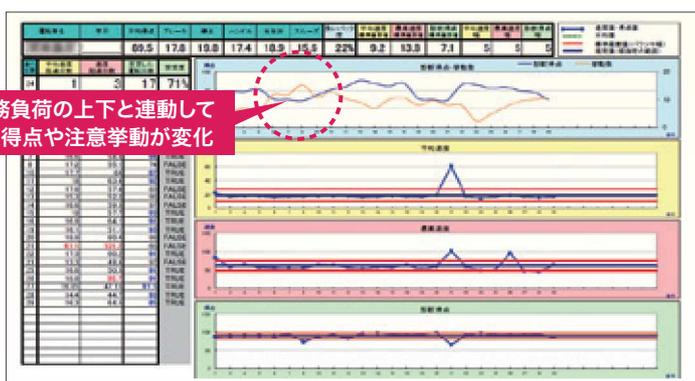


図6 運転評価得点を通年で平均80点以上(当初)を基準とし、ドライバーのSRデータを細かく見ていくことで、数値による客観的な個別指導を実現。1日の時間帯による業務負荷とSR得点の低下、注意挙動の発生などの事故リスクが把握できるようになった



写真 新入社員の「ベーパードライバー」の増加が課題となり、実際のサービスカーを使った運転技能教習「安全運転道場」など新人ドライバー育成も積極的に行う(左)。SR導入が功を奏して、警視庁交通部長&東京都交通安全協会会長賞(連盟)を受賞した

やさしい・キレイ・安全を目指す 女性社長が選んだSR導入の理由

株式会社イワタ輸送センター様

- 所在地：静岡県袋井市堀越438-1
- 設立：1971年12月21日
- 代表者：代表取締役 天野恭子
- 事業内容：一般区域貨物自動車運送事業、自動車運送取扱事業、軽車両等運送事業、流通倉庫事業

SR導入 SRVideo 14台



代表取締役
天野 恭子

リーダー
藤田 光人



これが我が社のSR導入効果

車両事故件数が**12件**から**3件**※に**激減!**

燃費効果も**4%削減**を達成!!

約320万円強の自動車保険料が約10万円強に削減(詳細は下表ご参照)

考える運転が自然にできるようになる SRがドライバー教育の本質を変えた

創業67年目を迎えた小口雑貨輸送を主体とした運送会社で、社員の女性比率も4割と多く、女性ならではの視点や心くばりを接客サービスに盛り込み、社内は明るく、やさしい雰囲気に溢れています(写真1,2)。

2015年に5代目の社長として就任しました。就任後、車両事故が12件も多発し、保険総額が320万円強におよび、ダメージを受けました。「社内の雰囲気が良いのに、なぜ事故が多いのか?」と悩みSRを試験導入したところ、**20年間無事故・無違反のベテランドライバーがまさかの35点を記録**。特にスムーズとハンドル診断項目が、わずか4点*でした。

※ 20点が満点、4点は最低点



写真1 きめ細やかなおもてなしでの接客が話題になり、NHKなどのメディアでも紹介された。左からクリスマスカードとニュースレター、来客時のウェルカムボード

ドライバー名	得点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
...



写真2 ジャイロを体感で理解してもらったため、バックミラーにつけられたチャーム。女性ならではの視点だ

図 月初に今月の目標点数を自己申告してもらう(左)。月ごとに全ドライバーの得点一覧を社内に掲示することでドライバーの競争心と安全意識の向上を狙う(下)

ドライバー名	得点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
...

現実を直視し、SRによる“運転の見える化”に踏み切りました。月初、ドライバーが目標点数を宣言し、その結果を社内に一覧として掲出し、月平均最高得点者を表彰しました(図)。導入後、半年間にわたり、診断項目ごとに平均得点の推移や、燃費改善効果をグラフで掲出して、**弱点や課題を見える化**することで、SR運用の意義と向上心につなげました。SRで安全教育指導も改善。月1の管理者安全会議では、SRデータを精査して急な操作を行うドライバーの撲滅を図るため、安全講習会を実施。クイズ形式で楽しくKYTを行ったり、重大課題克服キャンペーンなども行っています(写真3,4)。

今後は**車両・荷物事故ゼロを100日から200日達成**へと高く掲げ、ドライバーが輸送の安全を追求するプロとして誇りを持ち、地域貢献できる会社を目指します。



写真3 3か月に1回、社員に休日出勤してもらい開催される安全大会

あなたの声をお聞かせください!

SR導入による安全意識の向上、燃費改善の取り組みについて、ご意見を伺います。ご記入いただいた情報は、当社内で活用させていただきます。

① 所属部署: _____

② 氏名: _____

③ 性別: _____

④ 年齢: _____

⑤ 勤続年数: _____

⑥ 担当業務: _____

⑦ SR導入による安全意識の向上について、ご意見を伺います。

⑧ SR導入による燃費改善の取り組みについて、ご意見を伺います。

⑨ その他、ご意見やご要望は、ここに記入してください。



写真4 アンケートで現場ドライバーの声に耳を傾け、「やらされ感」やマンネリ化をなくす(左)。5つのSR診断項目のうち「ブレーキ」と「ハンドル」での得点アップが見られたドライバーを表彰して、お米5kgを贈呈した(右)

項目	SR導入前	SR導入後
車両事故	12件 保険総額: 3,271,719円	3件 保険総額: 112,050円 相手過失: 追突1件、停車時接触1件 右折時、ポールにバンパー接触
荷物事故	8件	3件
燃費	0.3%削減	4%削減

表 SR導入前と後の比較。安全とともに燃費も期待以上の効果が得られた

SRお客様交流会 分科会レポート

1. 事故「0」徹底追求

「バック前は3秒間停止」「構内は時速5km以下」「駐車は後退で入れる」などの運行ルールを作る。SRデータやビデオ映像でルール遵守しているかをチェックする。

また、SRデータと適性診断を併用することで、ドライバーの運転特性や癖を知り事故を未然に防止する。日常的にエコドライブを意識させることで、安全運転の両立を図る。

2. マンネリ打破で意識改革

運転適性診断は、各ドライバーの「(運転の)強み」確認によって「弱み」も発見できる。SRの活用に加えて「手書き」はドライバーに気づきや振り返りを与える効果大。

3. 費用対効果を出す

安全機器への投資は必要だが、労働条件改善が優先され、予算がとれないのが実情。機器によるデータ分析を活用することで、人的労力や時間を再配分し、物流費削減につなげる。

4. フォークリフトが見えてくる

構内は交通法規がないため、ヒューマンエラーが原因で事故が発生する。構内ルール作りが先決で、次に守らせる教育や躰が必要。SRフォークリフトは数値で教育できる最良のツールだ。



分科会の様子。様々なビジネスジャンルのお客様が、安全やエコドライブ、SRの運用について熱く語り合う



5. 車載機導入のポイント

SRは、ジャイロで車両の挙動も記録可能なので、他社にできない多角的な運転診断が可能。ドライバーがSRの過去データの推移を見返し、振り返ることで効果アップにも役立つ。監査が厳しくなっているので、労務管理チェックを補完する機能にも期待したい。



第5回 SRグランプリ結果発表と表彰式 明送が団体4、個人8受賞、殿堂入りも達成!!

秋の恒例行事、第5回SRグランプリには2015年7月1日～2016年6月30日までに全国のドライバー294名が参加し、厳正なる審査の結果、各賞が決定しました。

各賞受賞企業様の声

[団体賞] 小型トラック2位、3位、同中型トラック2位、[個人賞] 小型トラック部門5位、同中型トラック第5位
越野運送株式会社 様 「前は大きいトロフィーを2つ頂戴しましたが、今回は持ち帰れません。第6回は、ふたたびトロフィーをいただけるようがんばります」

[団体賞] 中型トラック1位、3位、大型トラック2位、3位、[個人賞] 小型トラック1位、同中型トラック1位、2位、3位、4位、同大型トラック1位、2位、3位、5位、同てっくろ賞(※第4回と第5回のSRグランプリの結果により殿堂入りとなりました)
株式会社明送 様 「豪華な賞品もいただけてうれしいです。ドライバーのモチベーションも上がりますので、もっと多くの企業に参加してほしい」

[団体賞] 大型トラック1位、[個人賞] 大型トラック4位
東電物流株式会社 様 「事業所一丸となった結果の賜物だと思います。99点でも原因追求をしながら満点の日を継続できるように会社全体で努力していきたい」



株式会社明送の一ノ瀬様。安全意識向上のきっかけづくりにSRグランプリは役に立っているとのこと

団体賞 乗用車部門

- 第1位 株式会社ガスエネルギー大分 宮脇グループ 89.04点
- 第2位 株式会社ガスエネルギー大分 庄野グループ 88.28点
- 第3位 株式会社ガスエネルギー大分 松蔭グループ 87.06点

団体賞 小型トラック部門

- 第1位 桜物流株式会社 93.90点
- 第2位 越野運送株式会社 本社営業所 91.64点
- 第3位 越野運送株式会社 兵庫営業所 90.00点

団体賞 中型トラック部門

- 第1位 株式会社明送 東北営業所 95.49点
- 第2位 越野運送株式会社 滋賀営業所 94.54点
- 第3位 株式会社明送 守谷営業所 91.95点

団体賞 大型トラック部門

- 第1位 東電物流株式会社 中央支社 横浜事業所 99.02点
- 第2位 株式会社明送 東北営業所 98.88点
- 第3位 株式会社明送 守谷営業所 97.87点

SRグランプリの詳細は弊社サイトをご参照ください。 <http://www.datatec.co.jp>

第6回 SRグランプリのエントリー企業を大募集!!



第25回 SRお客様交流会

● 2017年10月開催予定 [東京・大田区産業プラザPiO]



各種物流&運用セミナー

物流セミナーや、SRお助けセミナーを随時開催中

イベントの詳細は、弊社ホームページをご参照ください [URL: www.datatec.co.jp](http://www.datatec.co.jp)